

県民の脱炭素行動に関するアンケート調査

<調査概要>

「デカボえひめプロジェクト推進事業」の進捗指標を把握するため、県民の脱炭素行動に関する現状とプロジェクト目標達成に係る数値取得を目的としたアンケート調査を実施。

調査目的	目的①効果検証を行う ✓今回のプロジェクトのKGIは、CO2削減に取り組む県民の割合（「環境行動実践率」と定義） KGI達成のために中間KPIを設定し、前期末・今期末で前後比較することで効果検証を行う 目的②次年度の戦略・施策検討の示唆を得る ✓25年度に実施する施策の接触率を単に把握するだけではなく、生活者からの施策の魅力度評価やその理由（良かった点・悪かった点など）を把握する ✓投資対効果の定量的な数字と、個別施策の定性評価を合わせることで、26年度の戦略・施策の精度を高める																																																																																																														
調査課題	・脱炭素の必要性をどの程度理解しているか？ ・脱炭素につながる行動の実践意欲度は？その理由は？ ・脱炭素社会に向けた行動実践度は？ ・環境配慮や脱炭素を意識して普段どんなことに取り組んでいるか？ ・SNSキャンペーンの参加経験は？ ・「デカボ」の認知度は？認知経路は？ ・「デカボmyスコア」の認知度は？																																																																																																														
調査手法	Webアンケート																																																																																																														
対象者条件	【性別】 男性、女性 【年齢】 18～79歳 【地域】 愛媛県																																																																																																														
回収数	本調査：400ss																																																																																																														
割付	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">居住地域</th> <th colspan="6">男性</th> <th colspan="6">女性</th> <th rowspan="2">総計</th> </tr> <tr> <th>18～29歳</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60～79歳</th> <th>男性計</th> <th>18～29歳</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60～79歳</th> <th>女性計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松山地区</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>31</td> <td>91</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>36</td> <td>100</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>西条・新居浜・宇摩</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>46</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>46</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>今治</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>宇和島</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>16</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>八幡浜・大洲</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>37</td> <td>33</td> <td>72</td> <td>195</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>37</td> <td>35</td> <td>81</td> <td>205</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>	居住地域	男性						女性						総計	18～29歳	30代	40代	50代	60～79歳	男性計	18～29歳	30代	40代	50代	60～79歳	女性計	松山地区	14	13	18	15	31	91	14	14	19	17	36	100	191	西条・新居浜・宇摩	6	7	9	8	16	46	5	6	8	8	19	46	92	今治	3	3	4	4	9	23	3	3	4	4	11	25	48	宇和島	1	2	3	3	7	16	1	2	3	3	7	16	32	八幡浜・大洲	2	2	3	3	9	19	2	2	3	3	8	18	37	総計	26	27	37	33	72	195	25	27	37	35	81	205	400
居住地域	男性						女性						総計																																																																																																		
	18～29歳	30代	40代	50代	60～79歳	男性計	18～29歳	30代	40代	50代	60～79歳	女性計																																																																																																			
松山地区	14	13	18	15	31	91	14	14	19	17	36	100	191																																																																																																		
西条・新居浜・宇摩	6	7	9	8	16	46	5	6	8	8	19	46	92																																																																																																		
今治	3	3	4	4	9	23	3	3	4	4	11	25	48																																																																																																		
宇和島	1	2	3	3	7	16	1	2	3	3	7	16	32																																																																																																		
八幡浜・大洲	2	2	3	3	9	19	2	2	3	3	8	18	37																																																																																																		
総計	26	27	37	33	72	195	25	27	37	35	81	205	400																																																																																																		
調査期間	2026年2月9日週～																																																																																																														

<調査結果サマリ>

愛媛県民の脱炭素行動実践度の現状について

- 県民全体の**行動実践度は 59.3%**（KPI：75.0%）
- プロジェクトを開始した令和6年度は、特に**30代・40代の行動実践度が低く課題とされていたが、今回は全世代において行動実践度が大幅に増加。**

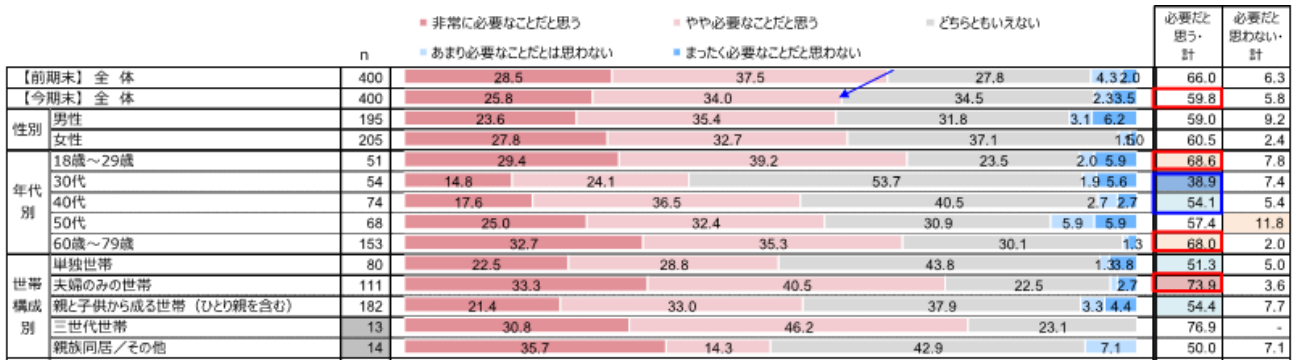
	重要性理解 (TOP2)			行動意向度 (TOP2)			行動実践度 (TOP2)			平均行動アクション数		
	事後 (R6)	R7	差分	事後 (R6)	R7	差分	事後 (R6)	R7	差分	事後 (R6)	R7	差分
	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2	TOP2
全体	66	59.8	-6.2	56.5	51	-5.5	36.3	59.3	23	5.76	6.02	0.26
29歳以下	64.7	68.6	3.9	56.9	56.9	0	33.3	58.6	25.5	4.04	3.69	-0.35
30代	53.7	38.9	-14.8	42.6	29.6	-13	22.2	44.4	22.2	4.69	4.57	-0.12
40代	64.9	54.1	-10.8	52.7	41.9	-10.8	33.8	55.4	21.6	5.35	5.93	0.58
50代	47.1	57.4	10.3	36.8	51.5	14.7	19.1	51.5	32.4	5.25	6.22	0.97
60代以上	79.7	68	-11.7	71.9	60.8	-11.1	51	69.9	18.9	7.12	7.27	0.15
男性	61.5	59	-2.5	51.3	50.3	-1	37.4	53.3	15.9	4.57	4.70	0.13
女性	70.2	60.5	-9.7	61.5	51.7	-9.8	35.1	64.9	29.8	6.88	7.28	0.40

アンケート調査結果について

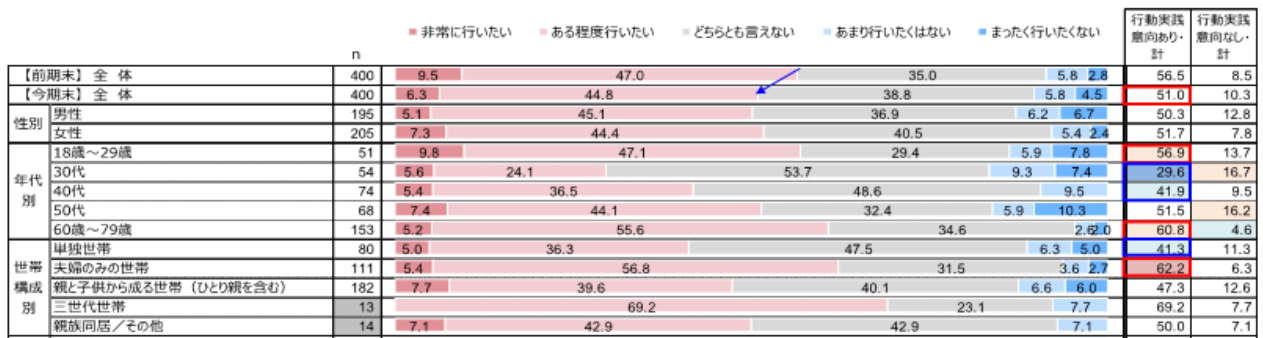
- 行動実践度（どの程度意識して脱炭素行動に取り組んでいるか）の増加に対し、平均脱炭素アクション実践数は横ばい。昨年度の調査結果から「今取り組んでいることが脱炭素に貢献できていることに気づいてもらう」という啓発方針を掲げており、本調査結果を踏まえると、意識と行動実践の乖離が埋まりつつあると考えられる。
- 全体の「デカボ」の関与・認知度は26.8%、「デカボ my スコア」の認知度は16.8%と、前期末からほぼ横ばい。
- 脱炭素アクション阻害要因においては「取り組むべき理由や意味が分からないから」が8.8ポイント減少したものの、「普段の生活の中で具体的に何をしたらいいか分からないから」がおおよそ3割で最も多く、前期末に引き続きトップの理由となっている。県民の行動実践は定着しつつあるが、次年度以降、さらに実践度を高める為には、啓発だけでなく、県民一人ひとりが、日常生活において、誰でも気軽に（何度も）実践できる機会を提供することで、行動変容回数を増やし、自然と習慣化に繋げることが肝要と考えられる。

<参考：アンケート調査結果>

Q1. 脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくことはどの程度必要なことだと考えていますか？
(脱炭素必要性理解度)



Q2. 脱炭素社会の実現に向けて、あなた自身が脱炭素につながる行動をしたいと考えていますか？
(行動実践意向度)



Q3. 普段の生活の中で、どの程度意識して、脱炭素社会に向けた行動をしていますか？
(行動実践度)

